

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費[東大和市老人性白内障眼鏡等購入費助成事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護 課 高齢福祉					係	課長名		伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進							総合計画書 (ページ)	51			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 下記の条件を満たすもの ①65歳以上で手術を受けた者 ②眼鏡等の購入時に市内に居住し、住民基本台帳等に記録されている者 ③医療保険加入者 ④申請した年度の市民税が非課税である者(特殊眼鏡の場合は所得の制限内の者)					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内65歳以上の高齢者数(平成31年4月1日現在)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対象者の経済的負担を軽減する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 支給件数					
	③ そのために何をしましたか。 身体上の理由により、老人性白内障治療のための水晶体摘出手術において、眼内レンズを挿入することが出来ない高齢者に対し、手術後に使用する特殊眼鏡及びコンタクトレンズの購入に要した費用の一部について、4万円(特殊眼鏡)または2万5千円(コンタクトレンズ)を限度として助成する。 手順については、対象者からの申請受付後、内容を審査し、決定通知書を送付してから、助成金を支払う。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 支給件数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標		令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	22,350	22,711	22,902					
	成果指標	②の数値	件	0	0	0.0					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方 対象者が限られるため、目標を設定するにはなじまない。											
3 経費	活動指標		③の数値	件	0	0	0				
	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.00	0.00	0.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	0	0	0					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	0	0	0						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成4 年度								
	(2) 環境の変化		平成4年に補助眼鏡(眼内レンズを挿入した者が補助として使用する眼鏡)が必要になった場合は眼鏡購入費の一部を助成することになった。平成5年から東京都で眼内レンズ挿入手術を受けられない者に対する特殊眼鏡購入費の助成を開始。平成20年度から補助金額を減額し、対象者を市民税非課税者に限定した。 平成27年度で補助眼鏡の購入費に対する助成は廃止になったため、平成28年度は経過措置の方のみ支給した。								

事業名称	高齢者日常生活支援事業費[東大和市老人性白内障眼鏡等購入費助成事業]			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
特になし。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	特になし。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	特になし。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
特になし。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 現状の実績について分析する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	給付内容の再検討			